

敬意の念しかありません。当日、30名の参加者、さすが松井氏の研究熱心さと変わらぬ情熱を実感しました。講演後、シヨールを1枚所望しました。うすい緑の肌は、『天女の羽衣』のように美しく恐れ多く、1本1本の細い糸から作られた方の努力を考えるとただただ感激しかありません。参加者の数名の方から、「桐生にそんな立派な方がいらしたんですね！」と感嘆の声を聴くと、またひとしお感動でした。

追記 御夫婦いつまでもお元気で頑張ってください。素晴らしい人生です。



(田中一枝 記)

### 桐生市歴史まちづくり 講演会及び会館見学会

本催しは10月23日(日)、歴史や文化伝統を活かした事例としてこの度「桐生倶楽部の歴史・活動内容及び桐生倶楽部会館を公開すること」を目的に桐生市主催で実施致しました。具体的には前半は村田理事による「桐生倶楽部と桐生倶楽部会館について」と題した講演、後半は2班に分かれた庭園含む桐生倶楽部会館の見学を行ないました。

村田理事の講演では「桐生市・桐生織物が大正期～昭和10年代まで絶頂期を迎え、桐生倶楽部がその迎賓館、市を司る要人の団欒の場、意見交換の場として桐生織物の繁栄を支えて来たことや、動画で桐生ヶ丘公園の今昔も観させて頂きビジネスで来桐の要人や織物に精を出した織物関係者が憩いの場・安らぎの場として桐生ヶ丘公園に求めたこと等も紹介頂きました。参加者によるアンケート

は、前向きな意見がたくさん寄せられました。

また桐生倶楽部員としては坪井理事長を筆頭に文化財研究委員会メンバー中心で、桐生市内外の地域住民に桐生倶楽部の歴史・活動そして会館自体を紹介出来たことは大変良かった。今後も桐生倶楽部を官民一体となったイベント会場としての活用や、直近では引続き歴史的風致形成建造物指定に向けた活動を計画して行きたいと考えています。ご協力よろしくお願い致します。

参加者43名(一般市民25名、桐生市staff7名、桐生倶楽部員11名)(彦部篤夫 記)



### ぶらりまち歩き部会 9月例会 日光例幣使街道を歩く 倉賀野宿から玉村宿へ

9月25日(日)暫くぶりのぶらりとまち歩きです。今回は「歴史の道歩き」として、日光例幣使街道を起点の倉賀野宿から最初の宿場である玉村宿までぶらりと歩いてきました。

JR桐生駅7:30発、高崎駅の乗り換えは2分の忙しさでJR倉賀野駅8:29着で日光例幣使街道起点の倉賀野へ移動でぶらりまち歩きが始まりました。